



2026年4月19日 礼拝メッセージ 菅原亘牧師  
みことば:ローマ人への手紙 13章11節~14節。  
タイトル:「世界の終末とキリスト再臨の預言」。  
サブタイトル「終末時代に生きるキリスト者の姿」

2月28日イスラエルはプリムの祭りの日にイラン攻撃を行い、アメリカも連動してイラン首脳部を殺害しました。それ以来、戦争状態が激化してホルムズ海峡封鎖に至っています。終結交渉も互いの利害が激しくぶつかり合っていてまとまりません。日本の経済の生命線である石油、ナフサも入って来なくなり私たちの生活を直撃しています。世界中が物価高騰となり非常事態に陥っています。これらの出来事とキリスト再臨とが結びついて行くのかどうかは注目しておきたいと思います。未だキリスト再臨にはもう少し後だろうとは思いますが。

1・聖書の預言の解釈は私的解釈ではない

第二ペテロの手紙1章16節~21節。

終末預言の解き明かして「これが絶対正しい」とか言うのは危険な兆候です。

UTUBEなどで多くの聖書解釈がなされていると思いますが、特定の方へのめり込まないようにしましょう。解釈に絶対はないので参考程度にするのが賢明です。

2・惑わしの霊に惑わされないように御霊と一緒に歩みましょう。

終末時代の特徴は惑わしの時代です。フェークが横行する時代です。

終末預言での間違いの手引きは「落ち着いた生活」を失うことが特徴です。

「あの人急に変わったよね」とか「何か極端になってない?」に注意です。

マタイによる福音書24章4節~5節、11節、24節。

第二テサロニケ人への手紙2章2節。

3・エゼキエル戦争についてエゼキエル書38章を見て行きましょう

現在のイスラエル・アメリカ対イラン戦争が発端となり、エゼキエル戦争を招くのじゃないかと言う解釈がなされたりしています。

世界から集められて平和に暮らしているイスラエルに四方から連合軍が攻め寄せて来るけど主なる神様が攻め込んで来た軍隊を負かしてしまう預言です。エゼキエル38章1節~23節。

4・終わりの時代であることは確かだと思います。右往左往しない。

しかし大切なことはキリスト者として落ち着いた生活をなし、良き家庭を作り、良き社会人として証しを立てて生きることが大事です。

ローマ人への手紙13章11節~14節。